

トウモロコシ中アフラトキシンのスクリーニング法

1. AgraStrip™ Afla(イムノクロマト)が厚生労働省通知法に採用
「トウモロコシ中のアフラトキシンの試験法について」
食安監発0816第7号(平成23年8月16日)

概要: 4 ppb未満のトウモロコシは、非汚染と見做してよい。

サンプル: 非汚染トウモロコシ

非汚染トウモロコシにアフラトキシンの(AFL)B₁ を10pp汚染相当量添加したもの

キット: AgraStrip™ Afla 4ppb (境界値 4ppb)

AgraStrip™ Afla 10ppb (境界値 10ppb)

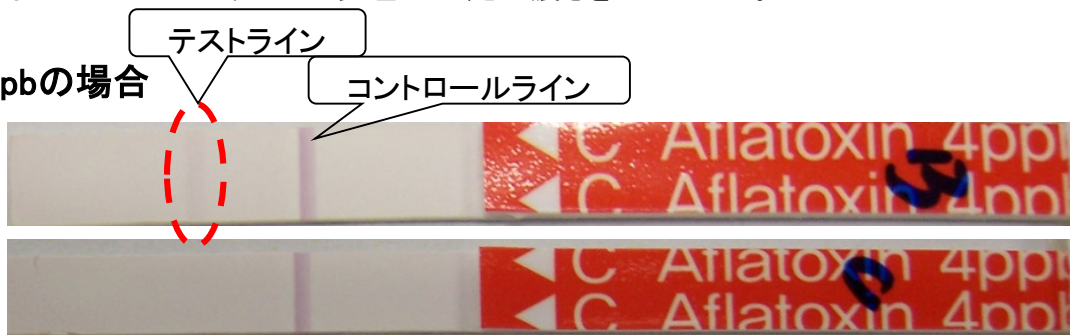
結果:

- ①いずれのキットにおいても非汚染群は陰性に、B₁ 10ppb添加群は陽性に判定されました。
- ②AgraStrip™ Afla 4ppbキットは、境界値の高いAgraStrip™ Afla 10ppb に比べてテストラインに塗布してある抗原(AFL-BAS)の量が少いため、テストラインの色が薄くなりました。一方、カビ毒量に依存しないコントロールラインの発色は一定の濃さを示しました。

AgraStrip™ Afla 4 ppbの場合

非汚染: 陰性

B₁ 10 ppb添加:
陽性



AgraStrip™ Afla 10 ppbの場合

非汚染: 陰性

B₁ 10 ppb添加:
陽性

